

事前送付資料に関する意見と対応について（※軽微な修正等は除く）

資料 4

No.	種類	記入欄	事務局対応
A	意見	p.10 (5) 今後更に検討すべき事項 ②で分流式下水道におけるノンポイント対策の課題について触れていることを踏まえ、「合流式下水道の果たしてきた役割」として、 道路等の堆積物のファーストフラッシュも受け入れて処理してきたことについてここでも改めてはっきり記載 してもよいのではないかと思います。（記載の場所はどこでも）	P1、29～31行目に追記しました。
B	確認	価値化の多様化に対する放流水質の柔軟な対応は、どちらかと言えば高度処理のイメージがあるが、まちづくりや水辺空間の創出に対してそのような事例はあるのか。	P1、55行目～、P8、302行目～修正しました。
C	意見	1. 事業、施行令、2. 実施の状況、について、内容を熟知している者以外には、 法令と事業目標との関係など、分りにくい と思います。	P3に参考表を追記しました。
D	意見	(2)ソフト・・・、(3)SPIRIT、について、唐突感があります。「合流事業(ハード)とあわせて、ソフト対策や技術開発も取り組んだ」など、手前で説明があるとわかりやすいと思いました。	P4、135～141行目に追記しました。
E	確認	緊急改善事業による効果を記入 した方がよいのではないのでしょうか。	P5,6,7各目標に対する事例を追記しました。
-	確認	「雨水分離」とは、宅地内の雨水を分離する意味で良いのでしょうか？	雨水分離は、上流の雨水系統の一部を切り離し、下水流入量を削減する取組です。
F	意見	「水域単位での重点化」は状況に応じて設定するものなので、「利用形態を加味して」等の表現を挟むべき。	P8、307行目～の文章を修正しました。
G	修正	修正文：感潮河川や水源の不足する水域では、未処理放流水による水質悪化が生じやすいことから、 感潮区間だけでなく上流区間も含めるなど 、水域の特性に応じた合流式下水道の対策強化が必要である	P8、309行目～、P11、396行目の文章を修正しました。
-	修正	緊急改善計画において「公衆衛生上の安全確保」は位置付けていないため、少なくとも改善目標 2 については21都市が分母ではない。（改善目標 1 と改善目標 2 の「①施設整備状況」の内容が同じとなっているが問題ないか）	合流式下水道改善状況等調査の調書1により、集計を行っています。（※「達成済み」でご回答を頂いています）
H	意見	（1）～（3）について、言葉の重複など、もう少し表現を整理して簡潔 にできればわかりやすいと思いました。	文言の重複や記載順を見直し、改めて内容を整理しました。
I	確認	貯留水処理等による維持管理費やCO2の増加を、今回、課題としている趣旨は。 修正文：「気候変動に対し、未処理放流を抑制するためにも浸水対策の推進が必要であるが、相当な事業費・期間が必要である」	P8、331行目～、P9、336行目～の文章を修正しました。
J	修正	・修正文 国民にわかりやすい 評価指標の設定を検討する 。 ※多様な主体との協議により、わかりやすい評価指標の設定の有無を検討することになるため、表現を変えたほうがよい。 ・「(2) 政策の進め方」について、1)～5) の内容のすべてを満たすことが求められるのか。または、マストな項目があるのか。 ・修正文（追加） 合流式下水道による水環境管理の施策の進め方については、 以下のような項目を検討することが想定される 。 ・ 多様な主体と評価指標の設定について検討した結果、設定できないことも想定される 。 ・評価指標の設定においては、会計検査等への説明が成り立つようなものでないと、支援制度等が活用されない恐れがある。	P10、355、363、364、382行目修正しました。

事前送付資料に関する意見と対応について（※軽微な修正等は除く）

資料 4

No.	種類	記入欄	事務局対応
K	意見	「アンケートにより、地域住民が快適と感じると回答した割合」など、施策の本質を踏まえた評価指標の設定を行うこととしてもよいのではないかと。	P11、384行目～の文章を修正しました。
L	修正	・修正文： <u>下水道管理者は</u> 、下水道法施行令の雨天時放流水質基準を継続的に遵守した上で、 <u>水域に応じた目標を設定し、目標に対して</u> 、汚濁負荷量の削減、放流先の変更など未処理放流水等の対策を強化する ・「水域の全体の目標」に対して「合流式下水道の目標と対策を整理」とあるが、あり方の主旨を踏まえると、水域の目標に対して下水道の対策が位置づけられていれば十分の場合もある。合流式下水道の目標設定は「必要に応じて」ぐらいでよいのではないかと。	P11、392行目～の文章を修正しました。
M	意見	PDCA的な考え方について、どこかで言及できればよいと思います。 281「 <u>対策規模は管理者が自ら選定</u> 」にあたり、 <u>法令上の義務以上の取組となる場合、必要性をどう説明し、どのように事業を進めるかという面</u> からも、計画・目標を定めうるフレームワークがある方がよいのではないかとと思います（ただし管理者に過度な負担にならない程度で）。	P11、394、421行目～に修正しました。
N	意見	・他の施策との連携として、 <u>気候変動への対応や既存ストックの活用、DXの推進による運転管理の効率化など、もう少し踏み込んで記載</u> してもよいと思われる。 ・(4)具体的な対策の内容、について、従来の対策とあまり変わらない印象です。例えば、「 <u>グリーンインフラの活用</u> 」等、 <u>少し新しい概念を提示</u> できれば良いと思います（海外では合流改善での採用事例よく聞きます）。	P11、403行目、404行目、P12、459～、466行目 追記します。
O	指摘	・ノンポイント汚濁負荷とは農地から流出する肥料成分、養殖場で過剰に投入された餌から発生する汚濁負荷、路面排水などのことを指すと理解しています。合流式下水道が取り入れられているのは概ね都市部なので、そこで問題になるのはほとんどが路面排水であり、雨天時には下水道ですでに受け入れています。「 <u>合流式下水道の処理区でノンポイント対策</u> 」という表現に違和感がありますが、もし事例があるようでしたら具体的に記載するのはいかがでしょうか。 ・修正文 今後は合流式と分流式を問わず、長期的な課題として検討していく必要がある。	P12、431行目、P13、490行目を修正しました。
P	意見	「水質検査の簡素化」について、 <u>水質監視・管理面での後退と受け取られないよう、「合理化、効率的で効果的な方法の検討」など、表現を工夫</u> できればよいと思います。	P13、499行目 本文中に追記しました。
Q	修正	・修正文 雨水ポンプ場等における未処理下水の消毒を実施する。 ・「技術開発の推進」の項目に「雨水吐口の未処理放流水（雨水ポンプ場は除く）の消毒対策」がありますが、 <u>自然排水区の雨水吐口での対策となるため、慎重な記載をすべきと考えます</u> 。（あえて記載しなくても良いのでは。）	P13、503行目を修正しました。
T	意見	技術開発の項目で本提言が終了していますが、章末に「提言のまとめ」が必要かと思っています。	